

【連載】

老健仕事人  介護福祉士

介護福祉士として 人と接するために

赤司 渉 [あかし・わたる]

介護老人保健施設ハートケア横浜小雀^{こすずめ}(神奈川県)
介護係長



はじめに

私の勤める医療法人社団協友会介護老人保健施設ハートケア横浜小雀は神奈川県横浜市戸塚区の緑豊かな地域にあり、上尾中央医科グループの施設になります。

施設理念として、「いつでもどこでも穏やかな日常が送れることを目指します」「いつでも誰とでも、あいさつが交わせる施設を目指します」「私たちは誇りと自信を持ち、笑顔を絶やしません」を念頭に入所、短期入所、通所リハビリ、訪問リハビリとさまざまなサービスを提供しており、各種サービスを施設内で共有・連携し、できる限りこの地域での生活を長く続けられるよう支援しております。

私は介護福祉学科のある専門学校を卒業後、当施設に入職しており、2024年4月で勤続16年目になります。一般棟からはじまり認知症専門棟を経験し、現在は通所リハビリを担当しております。

サービス内容の異なる環境を経験し、さまざまなご利用者のケアや対応をすることで自身の介護観や人としての成長につながっていると思います。

今回は日々どのような考えや思いで介護の仕事に取り組んでいるかを綴っていきたいと思います。

業務内容

現在は管理職として介護部の管理業務・職員教育、グループ施設の会議への参加や運営、県老健介護部の運営、外国人技能実習生の介護技能実習評価などを行う傍ら、通所リハビリの職員として送迎業務やバイタル測定、フロアリハビリ、排せつ介助、入浴介助、レクリエーション等を行っております。

人を応援するに足る自己の形成

私は学生時代に「応援団」に所属していました。応援団は運動部・文化部とは別に独立しており、主に運動部の壮行会や試合の応援をするための練習の毎日で、大根を持って応援することが名物でした。私は、応援団団長としてみんなの気持ちを1つにまとめ、さらに大きなエールに変えて選手に届けることを意識していました。そこで学んだことが「人を応援するに足る自己の形成」です。日々の生活態度が悪く、まじめに一生懸命になって物事に取り組めていない人に応援されてもその思いは伝わりません。この人に応援されてうれしい、がんばろうと思ってもらえるような人格を形成するという意味になります。

応援を支援に言い換えることで、私はこの言葉を介護の仕事をする上でとても大切にしています。私はこういう性格なので、「苦手だからできない」「教えてもらってない」と言い訳するのではなく、できなくても学ぶ姿勢でいることや改善しようと努力すること、自分で情報収集する、人に聞くなど自身が行動することで変えることができることについては積極的に行動することが人格形成につながっていると思います。

介護の仕事に誇りをもつ

介護の仕事は食事、入浴、排せつ、移動等の介助だけでなく、認知症のご利用者への対応を24時間365日行うこと。また、記録やカンファレンス、委員会、レクリエーション、クラブ活動、行事、イベントの準備や参加、ご家族への介護指導やアドバイスなど多岐にわたります。他にも「看護師とは薬の副作用の把握や、胃ろうやストマの知識、褥瘡予防と対応を」「リ